

CKD普及活動について

八田内科医院
(近江八幡市立総合医療センター)



健康診断で尿にたんぱくが降りていると知っても、痛くも痒くもない、、。医者にかかりなさいと言われても今は元気だから大丈夫、そう思いこんで、病院に行ったときには根治治療はできない、透析への秒読み段階、そのような患者さん達を私自身、数多く診てきました。元気だと思っけていても実は生活習慣の乱れから腎臓病にかかっていることに気付いていない、働き盛りのサラリーマンにも知ってほしい、診察室で待っていては腎臓病は減らないぞ、そんな発想で始めたのが2007年にJR近江八幡駅前で行った検尿キット街頭無料配布キャンペーンでした。当時、このイベントはあまりにも奇抜でしたが、JCKDIはこの活動を高く評価し、翌年の2008年には東京、大阪、名古屋、岡山、そして元祖である近江八幡の全国5都市で同時開催するに至ったのです。

その後、腎臓病撲滅キャンペーン隊は、滋賀県健康福祉課などの行政、近江八幡市体育協会(元気ウオーク)など、様々団体とコラボしながら活動し実績を重ねてきました。我々の腎臓病撲滅にかける想いを周囲に広めたい、少しでも腎臓病で悩める皆様のお役に立ちたい、そんな想いを胸に隊員一同、今後も力を合わせて活動していきます。このような社会貢献活動を通して人々の健康維持に対する意識が更に高まることに期待しています。

藤和不動産 フロアーズ

任意団体NPO 腎臓病撲滅キャンペーン隊

腎臓病の怖さ知って 近江八幡 医師ら検査キット無料配布

腎臓病の怖さに気付いてもらおうと、近江八幡市立総合医療センターの医師や職員有志16人が1日、滋賀県近江八幡市のJR近江八幡駅で検査キット300個を無料配布した。

慢性腎臓病は予備軍を含め2000万人いると言われ、早期発見が悪化を防ぐ上で重要という。医療センターの腎臓センター長を務める八田告医師(40)がボランティアで活動と呼びかけ、腎機能を尿で調べるキットやそろいのジャンパーを購入するなど、約1カ月前から準備を進めてきた。

この日は、職員らが帰宅途中の会社員らに、多発する腎臓病について説明しながら、検査キットと市から提供を受けたポケットティッシュを配った。八田医師は「検尿をして異常を感じたら病院に行ってください。腎臓病患者減少に役立てば」と話していた。



慢性腎臓病の早期発見を呼びかける八田医師(左から3人目)ら—近江八幡市・JR近江八幡駅



2007年

腎臓病早く見つけて!

近江八幡・
総合医療センター

STOP CKD
腎臓病撲滅
キャンペーン
センター

全国で7000万人の患者がいるとされる腎臓病。自覚症状がほとんどないため、気づいたときには慢性腎不全にまで進行し、ひどい場合は人工透析に頼らざるを得なくなる怖い病気だ。そんな患者を一人でも減らそうと、近江八幡市立総合医療センターの病院職員がボランティアで「腎臓病撲滅キャンペーン」を発足させ、早期発見、治療の大切さを呼びかけている。(岡田百合江)

手作りののりで、買い物客と医師をひきかたす「STOP CKD」



LET'S

人や買い物客から「早期発見が大事です。家族の人に検査を勧めてください」といふ声が多く聞かれました。計3000個のキットを手渡しました。受け取った近江八幡市加茂町の岡田さん(70)は「幸いものは検査するよ。健康づくりには毎日1時間くらいのウオーキングをしています。こういう機会がないと尿検査の大切さに気が付かない。帰って試してみよう」と思いました。医師で臨床検査技師の吉弘敏夫さん(56)は「腎臓病にならないうちから尿検査をしてほしい。尿検査は、尿中のたんぱく質や糖質を調べ、腎臓の機能を調べる検査です。尿中のたんぱく質や糖質が増えていると、腎臓の機能が低下している可能性があります。早期発見が大事です。家族の人に検査を勧めてください」といふ声が多く聞かれました。

検尿キット配布、使い方説明も



メモ 腎臓は血液を浄化して体に必要成分を再吸収し、有害物質などを尿として排出する機能を持つ。腎不全はこの浄化機能が失われる病気で、慢性化すると回復が非常に困難になり、人工透析を余儀なくされる場合もある。自覚症状があまりないため、風邪をひいたような体のだるさや食欲不振が長引き、病院に行ったときには、すでに慢性腎不全と診断されることもある。

職員ら、街頭で啓発活動

国際腎臓学会などが、腎臓病の早期治療の重要性を訴えようと、2006年に「世界腎臓デー」と定めた3月の第1土曜日、日本では東京、大阪を主として、岡山、近江八幡の5か所で、医師らが腎臓病をテーマにした検尿キットを配布した。このうち、近江八幡駅前では、同様の活動が、午前7時から午後6時の2回、約1時間ずつ、通勤中の



八田先生も積極的に声をかける

いる行では、おたけと、07年1月に同センター総務課職員岡田市役所と連携して、同センターの検尿キット36に相談し、のりがきつた。センターで有志となった2人の医師と看護師、前会を、製薬会社の協力を受けながら臨床検査技師、栄養士の約40人が賛同し、製薬会社と連携しての活動を進めた。活動資金は自費で賄い、その日の緑のシャツを購入し、検尿キット3600個を準備し、同年6月に同センターで全国初のキャンペーンを開催した。同日、近江八幡市五福寺町周辺で開かれた「たてん」の里あひだ2007で行ったキャンペーンは、同センターの検尿キットを借り、3時間以上10人以上に検尿をしてもらった。このうち、1人は「尿が濁った」といふ症状があり、尿検査の結果、慢性腎臓病と診断された。この人は、尿検査の結果、慢性腎臓病と診断された。この人は、尿検査の結果、慢性腎臓病と診断された。



社員の健康増進に努めよう求めている。このうち、1人は「尿が濁った」といふ症状があり、尿検査の結果、慢性腎臓病と診断された。この人は、尿検査の結果、慢性腎臓病と診断された。この人は、尿検査の結果、慢性腎臓病と診断された。



腎臓病撲滅キャンペーン隊
世界腎臓デー検尿キット配布 in 近江八幡!
⇒日本の慢性腎臓病対策を動かし始める!

「STOP THE CKD」のもとに昨年4月に病院有志が集まり、同年6月1日、JR近江八幡駅で街頭啓発始める。去る3月13日(世界腎臓デー)には全国5ヶ所で大規模な検尿キット配布をおこない、慢性腎臓病の早期発見、予防を呼びかける。

＜今まさに起ころうとしていること!＞

○地方都市の片隅で始まったボランティアによる慢性腎臓病撲滅キャンペーン

～6.1 JR近江八幡駅で街頭啓発、検尿キット配布～全国初!

メディアが注目・応援

新聞・週刊誌にも掲載

◎日本慢性腎臓病対策協議会が腎臓病撲滅キャンペーン隊の活動に賛同

～3.13 世界腎臓デー 全国検尿キット配布キャンペーン実施 近江八幡 3000 個配布～

注目も全国区へ

学会・協議会なども注目

全国イベント開催へ

厚生労働省後援につく



国が動く!!

間接的にも影響アリ?

●厚生労働省 検討会

～3.17 慢性腎臓病の対策打ち出し

★3月中に対策案が都道府県、医療機関などに配布

★対策費を2009年度概算予算算定済み



今後...

腎臓病撲滅キャンペーン隊は、厚生労働省に慢性腎臓病の撲滅啓発のボランティア部門として公認を受け、街頭啓発のキーパーソンをめざす!

一考の余地アリ...

近江八幡市立総合医療センターとしては、厚生労働省に今後の慢性腎臓病対策のモデル病院、地域連携として名乗りを挙げてみてはどうですか?既に京滋地区でも数ある腎臓センターを構えており、全国的に病院の名を高めるチャンスです。PFIによる汚名返上のチャンスにも・・・
2009年度予算化なら1年前の2008年4月に厚生労働省に働きかけてみては・・・

職員の皆様から意見・アイデアなどがあれば腎臓センター 八田先生まで

五個荘町での‘まちかど検尿相談室’



腎臓のなみだが
教えてくれる
あなたのからだのこと。

腎臓のなみだ

vol.2

腎臓が泣きやむためには？



監修

近江八幡市立総合医療センター 腎臓センター
八田 告 先生

一般市民



病院、行政主催のCKD講演会、学習会

腎機能異常

かかりつけ医

腎臟專門医療機関



行政

CKD普及啓発活動の歴史

	近江八幡(滋賀県)	日本全体、学会
CKD普及組織	2007年 腎臓病撲滅キャンペーン隊	2006年 日本慢性腎臓病対策協議会
CKD普及活動	2007年 近江八幡駅前街頭啓発活動	2008年 全国CKD啓発活動
行政の関与	2011年 滋賀県慢性腎臓病対策協議会	厚生労働省からの支援
普及活動形式	行政主催(滋賀県主催) 独自開催 参加型開催 行政とのタイアップ 民間企業・ボランティア団体との 協同	独自開催 (参加型)
CKD診療	保存期腎不全教育入院(2006～) CKD地域連携パス(2008～) CKD地域連携パス県下統一 (2013～)	CKDガイドラインなど多数



入場無料

先着1,000名様で満席となります。

腎臓病予防キャンペーン



生活習慣の乱れからくる疾病が増えつつあります。心臓病や糖尿病などを発病し、やがて胃腸病という怖い病気に進行していきます。このような過程をふまけないためにも、あまり知られていない胃腸病の実態を知っていただき健康増進を図ることを目的として開催します。

第二部

講演会

平成24年

日時 **9月23日(日)** 場所 **近江八幡市文化会館**
(開場 12:00) **大ホール**

■13:00～開会あいさつ

13:05~ 近江汽船ロータリークラブ会員 小西 真

健康講演「生活習慣病としての腎臓病」

講師 **八田 告** 医師
（近江県立中央総合病院心臓センター 副科内科 部長）

13:45~
健康落語「そうだ、薬剤師に聞こう！」

蹴矢 穀 (升筒家 蹴七)
(遠筒家 蹴七)

手話通訳

の必要な方は

9月7日(金)

事務局まで



■14:10～記念講演
『大家族・ささえ愛・
見守り愛・励まし愛』

西川 ヘレン

- 1945年 京都市生まれ。
- 1963年 吉水美術専門学校。
- 1967年 西川とよよしと結婚、2人の子をもうける。
- 作家、大作家宮城野市に下宿。
- 1972年のよよしと宮城野と共編『大作家のついでに』出版。
- 主な著書：
 - 『世の端がささえる』
 - 『雨のほうらさかやうのさびしい朝明しレシビ』
 - 『カレンのよう、いや、多岐見合のさびしい』など



家族のあり方
介護への取り組み方

■ 15:40～ 閉会あいさつ

実行委員長 **中野 勝次**

主催：近江八幡ロータリークラブ・近江八幡市健康づくり推進協議会・腎臓病撲滅キャンペーン隊

(後援) 近江八幡市、近江八幡市三井物産協賛会、近江八幡市以成組連名会、近江八幡町自治会組合、近江八幡町社会福祉委員会、近江八幡町青少年センター、近江八幡町社会福祉協議会、日本赤十字社近江地区委員会、近江八幡市市民文化財団、近江八幡市市民文化財団、近江八幡市市民文化財団、近江八幡市市民文化財団

※会場にお越しの際はできるだけ公共交通機関をご利用ください。

お問い合わせ先(事務局) 近江八幡ロータリークラブ事務局 電話 0748-34-8345

滋賀県慢性腎臓病予防キャンペーン

主 催

滋賀腎・透析研究会、滋賀県

協 力

日本慢性腎臓病対策協議会、公益社団法人滋賀県腎臓病患者福祉協会
腎臓病撲滅キャンペーン隊

内 容

(1)街頭キャンペーン

日 時：平成25年3月14日(木)15時00分～18時00分

ア)啓発資材の配布による啓発の実施

- ・ 会 場：イオンモール草津 1階 入口
- ・ 配布資材：ポケットティッシュ
- ・ 配布数：2000個

イ) ミニ医療相談会

- ・ 会 場：イオンモール草津 2階 スペース
- ・ 相談員：腎臓専門医師による個別相談

(2)県庁舎における横断幕設置

設置期間：3月8日(金)～3月22日(金)

設置場所：大津合同庁舎 7階 JR線路側壁面

「まもろう腎臓、受けよう健診」

(3)病院・行政機関等窓口での啓発資材(ポケットティッシュ)の設置

- ・ 設置場所：保健所、市町、医療機関等



CKD普及活動 in Shiga 2013



まもろう腎臓 受けよう健診

3月第2木曜
世界腎臓デー

CKD普及活動の問題点

- 各地域の自主性に任されている
(ボランティア精神上はgoodだが、、)
- 担当者の負担が大きい。
- 行政主体のところが少ない。

行政主体であっても市レベルが多い

(滋賀県はやっと、、滋賀県健康長寿課が主体)

滋賀県慢性腎臓病対策協議会発足(吉川先生議長)

- JCKDIのバックアップは大きいが、まだまだ経済的、事務的負担が大きい。コーディネーター派遣などの方がありがたい？

CKD医療連携で重要な二つの道筋

一般市民



市民への啓発
検尿キット配布キャンペーン(WKD)
JCKDI活動



病院、行政主催のCKD講演会、学習会

腎臓病を知る責任

生命の危険が高い
沈黙の腎臓病、
早期発見、治療が一番

市民公開講座

講演「腎臓病を速くするためにすべきこと」 10:00~

腎臓内科部長 八田 浩 医師

「腎臓病との付き合い方」

腎臓センター 主任 森本 千秋 臨床栄養師

「もっと知りたい! 食事療法のコツ」

栄養管理科 黒川あかね 管理栄養士

腎臓科、泌尿科による相談コーナー 11:30~13:00

相談コーナー(透析患者・家族向け) 11:30~12:30

H22年10月31日(日)10:00開演(9:30開場)

会場: 近江八幡市文化会館 小ホール

主催: 近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

協賛: 近江八幡市、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター

行政

検尿異常

腎機能異常

かかりつけ医

地域連携パス

治療方針決定

CKD診療ガイド

腎生検ハンドブック

腎病理コンサルテーション

腎生検

保存期腎不全教育入院

腎臓専門医療機関

CKD診療ガイドライン

腎臓病教室
《外来》

使用可能ツール

各医療関連機関

腎臓病の理由

医療機関における受け皿

活動方法

役割

9

CKD 患者を専門医に紹介するタイミング

- 健診などで、検尿と eGFR に異常があれば、速やかにかかりつけ医へ紹介する。
- かかりつけ医では検尿（蛋白尿、血尿）を行い、尿蛋白陽性では尿蛋白濃度、尿クレアチニン（Cr）濃度より尿蛋白を g/gCr で評価することが望ましい。同時に血清 Cr 濃度を測定し、腎機能を eGFR で評価する。
- 1)～3) のいずれかに該当する CKD は腎臓専門医に紹介し、連携して診療する（表 16）。
 - 1) 高度の蛋白尿（尿蛋白/尿 Cr 比 0.5 g/gCr 以上、または 2+以上）
 - 2) eGFR 50 mL/分/1.73 m²未満（腎機能の安定した 70 歳以上では eGFR 40 mL/分/1.73 m²未満）
 - 3) 蛋白尿と血尿がともに陽性（1+以上）
- CKD ステージ 1～3 は、基本的にはかかりつけ医で治療を続ける。3 カ月で 30%以上の腎機能の悪化を認めるなど進行が速い場合や、血糖および血圧のコントロールが不良な場合には、腎臓専門医、高血圧専門医または糖尿病専門医に相談し、治療方針を検討する。
- 小児の腎臓専門医紹介基準は37 頁表14 を参照のこと。

CKD紹介が増えたときに、 腎臓専門機関の対応は？

- 腎臓専門医の不足（地域偏在）
- 専門医間の保存期腎不全に対する診療の温度差
⇒保存期腎不全検査教育入院の普及
- 紹介元との連携不足

⇒今後の腎臓専門機関の対応によっては、CKDブーム
に暗い影を落とす結果となる！？

CKD普及のためには、しっかりとした受け皿を！

日にち	／(水)	／(木)	／(金)	／(土)	／(日)	／(月)	／(火)
	会計後、午前退院						
入院目的	①腎機能を悪化させている要因を明らかにする ②動脈硬化性疾患を早期に発見する ③慢性腎臓病と療養生活に関する知識を深める						
食事	腎臓食：塩分5g調整食 朝食で終了						
検査	○レントゲン(胸部) ○心電図 ○24時間血圧測定 ○睡眠時無呼吸症候群の検査 ○InBody(体成分分析検査)	○採血 ○心臓超音波検査	○頰動脈・腎動脈超音波 	土 日 外 泊		○採血 ○脈波伝播速度 (血管の硬さを調べる検査)	
医師からの説明		○腎不全とは(腎臓内科医) 10時～カンファレンス室					○検査結果説明
薬剤師からの説明			○服薬指導(入院期間中に) 				
栄養士からの説明		○集団指導 11時～カンファレンス室		外泊中の食事内容の記入		○個別指導 ※時間は木曜日にお知らせ	
病棟から	○入院オリエンテーション	○療法説明 15時～デイルーム	○日常生活の注意点 10時～デイルーム			○フリーディスカッション 14時～デイルーム	○退院後の療養計画
ご自行	【入院目的】 教育入院の目的は、次の3点です。 ① 腎機能を悪化させている要因を明らかにすること ② 動脈硬化性疾患を早期発見すること ③ 慢性腎臓病とその療養生活に関する知識を深めること						
ビデオ							

教育入院前後での残腎機能推移



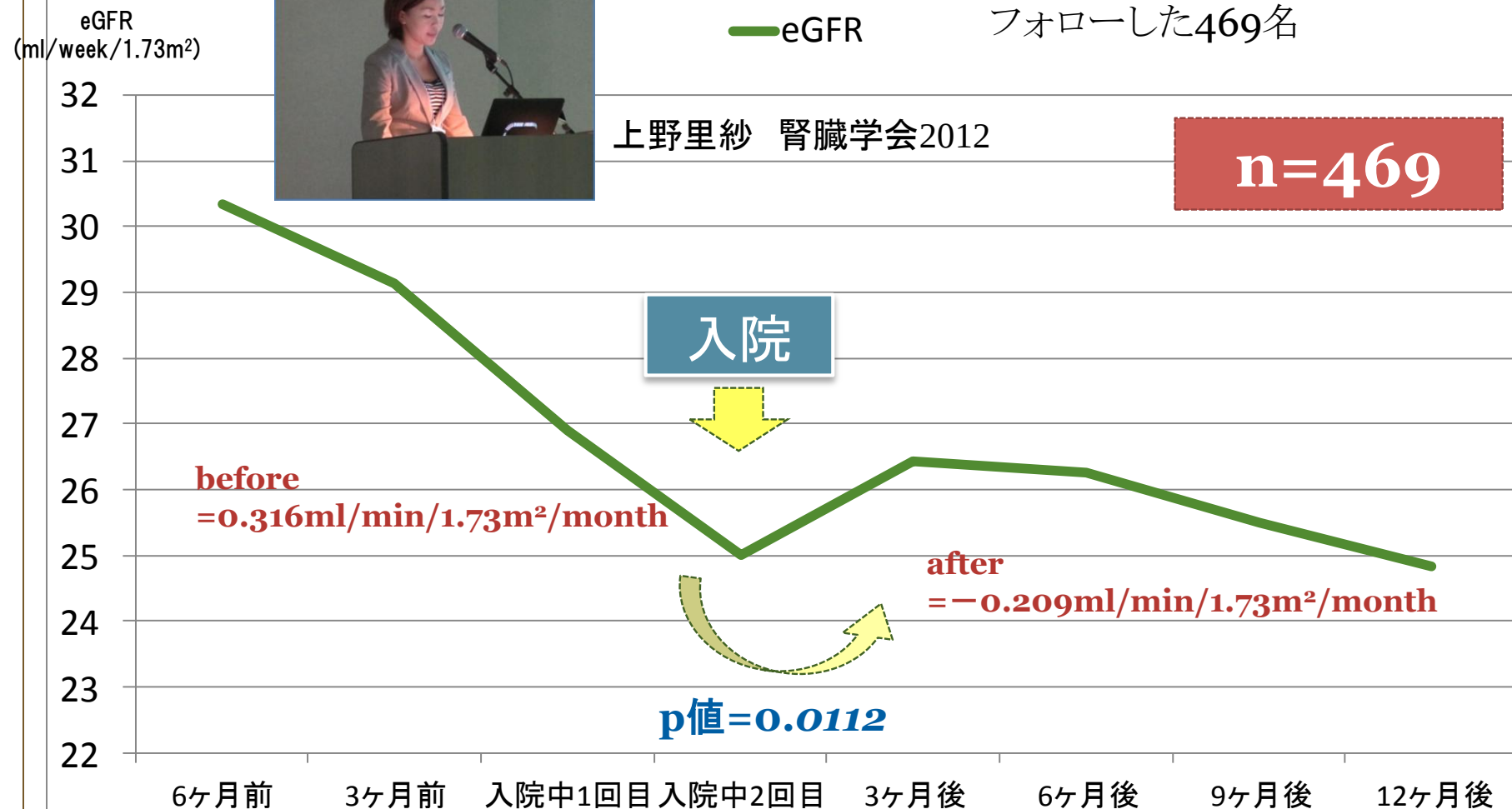
過去に教育入院し12か月後まで
フォローした469名

— eGFR



上野里紗 腎臓学会2012

n=469



腎臓内科診療実績

腎臓センター病床数

	腎臓内科4名	腎臓内科4名	腎臓内科5名	腎臓内科5名	腎臓内科6名
	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	平成24年度
腎臓内科退院患者数	596人	550人	682人	726人	794人
パス適	毎週4人ペース 入院申し込み多数のため、現在2-3か月待ち				人 3%
保存期腎不全検査教育	133人	131人	136人	151人	191人
腎生検	54人	47人	68人	79人	64人
シャント手術	74人	84人	88人	120人	110人
HD導入	51人	56人	54人	83人	77人
PD導入	5人/年	6人	6人	8人	3人
血液透析のべ回数/年	30773回	28098回	27747回	25435回	26599回
緊急HD、CHDF	87症例	84症例	176症例	245症例	228症例

腎疾患の早期紹介のためにすべきこと

保存期腎不全検査教育入院の促進

⇒病院に紹介したメリットが大、入院目的が明確

⇒なぜ、糖尿病内科の先生は、腎臓内科に早期紹介するのが遅いのか？（例外もあり）

- 教育入院を軸としたCKD地域連携の実践

⇒CKD地域連携パスの運用

連携パスは両者に加算

（糖尿病連携パスは、診療所は無報酬）

- 予防医学に医療費をシフトさせる必要

何故、保存期腎不全検査教育入院
は普及していないのか？

糖尿病検査教育入院、CKD検査教育入院の比較

	糖尿病検査教育入院	CKD検査教育入院
目標	患者指導、検査	患者指導、検査
検査目標	血糖、HbA1C	eGFR、蛋白尿など
期間	一週間、短期間	一週間、短期間
認知度	高い	低い
実施率	高い	低い
協力スタッフ	多い(学会主導体制)	少ない
スタッフ関与	協力的	拒否的
看護指導	確立	非確立

保存期腎不全検査教育入院の促進 のためにすべきこと

- 効果の実証(7月号腎臓学会誌掲載予定)
- 学会で認知された活動(腎臓学会将来構想WG)
- スタッフ教育(CKD療養指導士資格制度など)
- 検査教育入院に対する医療費獲得

通常の入院と差がない医療費では普及しない
入院ベッドの確保

(急性期病院だから部屋がない！？)

指導に対する加算がない

など

保存期腎不全教育入院の効果

- 退院後の腎機能悪化進行抑制効果
- 内容の充実したチーム医療
- 患者のモチベーション向上
- 医療者スタッフとの信頼関係構築
- 継続した患者指導への架け橋（継続学習）
- かかりつけ医リピーター増加
⇒意味のあるCKD地域連携パス充実化
- その他

腎臓病公開講座(10月)

・年に一回、病院主催、文化会館

今年は、ホテルニューオオミ

・対象:教育入院した方、一般市民

・開催目的

①教育入院経験者のモチベーション維持
(同窓会的な役割)

②教育入院未経験者への啓発

・周知方法

教育入院経験者→direct mail

かかりつけ医→地域連携室から周知

(ポスター掲示)

・当日にかかりつけ医からもコメント

平成23年度 公開講座1

腎臓病を知る責任

生命の危険が高い
沈黙の腎臓病、
早期発見、治療が一番

公開講座

PART2

日時 平成 10:00~13:00 (9:30開場)
23年10月10日(祝・月)

会場 ホテルニューオオミ(2階)
近江八幡市康楽町1481番地 Tel.0748-36-6666
JR近江八幡駅下車徒歩1分

参加無料 事前申込不要

講演1 「腎不全が止まる人、止まらない人の違い」
～保存腎不全 教育入院600名から学んだこと～
腎臓内科部長 八田 告 医師

講演2 「腎臓病とおつきあい…」
腎臓センター主任 井本千秋 認定看護師

講演3 「知っておきたい 塩っけのお話しごそうの話」
栄養管理科 東森佳子 管理栄養士

トークショー
「究極の腎臓病メニュー
病気でどうまいもん食べたい」
ホテルニューオオミ 和食料理長 小谷明宏 *Akihiro Kohata*

【プロフィール】
15歳で神戸市立中央病院で料理の道に入り、神戸大学と神戸大学経済経営学院、28歳の時、神戸三宮で料理長となる。神戸・大阪・京都の料理長・料理教室などで料理長を務める。
2002年にホテルニューオオミ日本料理部長に就任、現在に至る。

【主要経歴】
平成13年 第19.21回調理学士全国技能競技大会 京都府代表
平成13年 京都府栄養士 役年
平成18年 迎十道に師範修了
平成20年 京都府料理の老舗会
平成23年 第26回技能グランプリ 日本料理部門第2位

主 催: 近江八幡市立総合医療センター
後 援: 日本慢性腎臓病対策推進会、近江八幡市、(財)近江八幡市衛生保健研究、(財)近江八幡市腎臓病協会、(社)近江八幡市医師会、
八幡市医師会、(公)近江八幡市医師会、(公)近江八幡市医師会、(公)近江八幡市医師会、
協 賛: ホテルニューオオミ 協 力: 腎臓病啓発キャンペーン

お申し込み先: 近江八幡市立総合医療センター 総務課 電話0748-33-1151





市民公開講座

～生命の危険が高い泌尿の腎臓病、
早期発見、治療が一番～



胃腸内科部長
八田 晋 医師

2 「うまく減塩するコツ」

田中 陽子 (管理栄養士)



井間家 磯七
國友 設
八幡町(伊金町)全



井上 智恵 (写真・文)



「糖尿病から透析を
回避するためには」

片山 初美 (映画監督)



「腎臓病と運動」

森本 順子 (国文学博士)



●●●●●

平成24年12月2日(日曜日)
9:00~13:00

Figure 1

ホテルニューオウミ(2階)
tel.0748-36-6666

・医師、栄養士、看護師、
薬剤師による相談コーナー

※希望される方は、当日受付時にお申し出ください。

12時15分～13時00分

お問い合わせ先／近江八幡市立総合医療センター 医事課 西川 TEL 0748-88-3151(平日 9:00~17:00)

主催：近江八幡市立総合医療センター

代表：松田正弘（八幡市衛生保健委員会、滋賀県民会、（社）滋賀県看護協会、（社）滋賀県栄養士会、滋賀県歯科医師会、滋賀県臨床工学技士会、八幡市医師会、（公）社）滋賀県有馬町患者福祉協会、NPO法人阿賀川サボート協会、日本有馬財団、日本慢性腎臓病対策協議会（ACRO）、有馬町健康センター運営部

まとめ

- これまでのCKD普及活動の紹介
 - 紹介された専門病院側の対応
 - * 検尿異常⇒治療 は問題なし
 - * 保存期腎不全 透析準備ではなく、しっかりとした進行抑制を！ Common diseaseに力を！
- ⇒そうでなければ、紹介が途絶える、、
- ⇒CKD普及に影、、、。

CKD普及活動について

八田内科医院
(近江八幡市立総合医療センター)